

適期田植えの育苗管理

■ 温度管理やかん水に注意し、軟弱徒長苗を防ごう ■

1. 緑化期の管理（ヤケ苗防止対策）

- 出芽揃い（1 cm 程度）を確認してからハウスへ搬入。
- 搬入時に覆土を落ち着かせる程度に必ずかん水する。
- 搬入後は温度の上がらない太陽シートなどで遮光する。

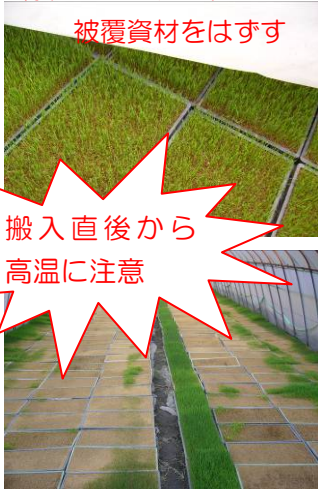
【保温の必要はほとんどない】

搬入直後のかん水は必ず行う！



緑化していれば、

被覆資材をははず



搬入直後から
高温に注意

- 外気温、日射量があがって、ハウス内の温度が30℃を超えるような場合、たとえ緑化中であっても換気（太陽の反対側のビニールを開放）し、ヤケ苗の発生を防止しましょう。
- 又、ハウス内が高温になると病気の発生が懸念され、軟弱徒長苗になります。
- 逆に外気温が5℃以下の低温が予想される場合は保温に努めましょう。
- 緑化完了後は、すみやかに被覆資材を取り除き徒長しないようにする。
- 昼間のハウス内温度は20℃～30℃、夜間は10℃～15℃を目安にしましょう。

2. 硬化期の管理（草丈よりも根張り かん水はひかえめ 換気は多めに！）

コシヒカリの育苗は苗丈の伸びが早く育苗日数が短くなるため、根量が少なくマット強度が極端に弱くなる傾向があります。苗丈の伸びをなるべく抑え根量を増やすため、かん水を控えめにし、根の張りを促進する。



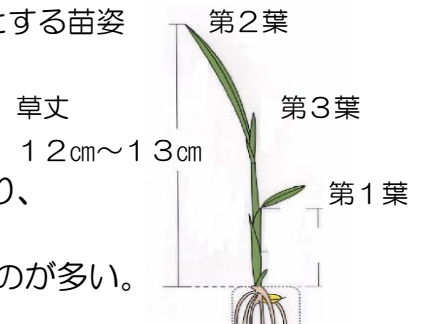
苗は水を欲しがらるが、水をやればやるほど地上部（草丈）は伸びるが、地下部（根の張り）は劣ってきます。

かん水は午前中に1回だけじゅうぶんに行い、午後、とくに夕方のかん水は、たとえしおれ始めても絶対にやらないで翌朝まで待つ。

3. 植付時の稚苗の目安（葉齢2.0～2.5）

- ① 第3葉が2～2.5 cm くらい出ている状態。
- ② 第1葉までが3.5～4 cm を超えていない。
- ③ 腰（莖）が太くて幅広く（2 mm 以上あって）、丸みがあり、がっちりしている。
- ④ 種子根1本と周りの根がよく伸び、根は白くて太いものが多い。

目標とする苗姿



ハウスの役割は

雨風をしのぐだけ

- 硬化期の日中のハウス内温度は、10時頃には40℃～50℃まで上がることが多く、軟弱徒長苗を作らないためには、換気により温度を適正に保つことが要件となります。
- 一旦、上がったハウス内の温度は下がりにくくなります。遅くとも、朝8時頃までにはハウスを開けましょう。
- 硬化期になれば、保温をする必要はない。ハウスを全開にするなど、温度を下げることを徹底してください。

疎植 細植えによる過剰生育抑制

□ 基肥窒素は1~2キロ/10a 植え付け本数は3~4本/株を目安に □

基肥量の適正化（基肥は少なめが善）

基肥窒素が多いと初期の分けつ確保は早く、莖数も多くなる。その後強い中干しで生育を制御し、倒伏を避ける。しかし、中干しの時期は梅雨で、中干しがうまくできない年も多い。そういう年は、せいぜい穂肥を遅らすか、穂肥をやらないかになる。基肥一括肥料の場合は打つ手がなくなってしまいます。

基肥量、栽植密度の再確認



□ 適期田植えの稲は、初期生育期が高温になり、地力窒素を吸収利用する割合が高まるため、5月上旬田植えに比べ、幼穂形成期までの基肥量が少なくなります。

□ 基肥窒素を減らし、莖数を適正にすることで耐倒伏性を高める必要があります。基肥窒素を減らした稲は過剰分けつの稲よりも穂肥の効果が高くなる（適正な穂肥量がやれる）ため、登熟も向上して秋まさりの稲になります。

5月中下旬田植えの標準基肥量（平坦地・山間地）

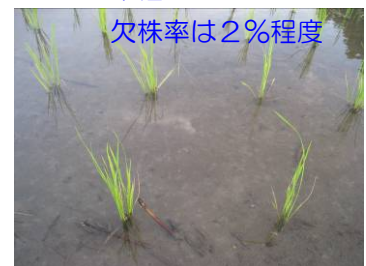
エコファーマーコシヒカリ		エコファーマー日本晴		
基肥一発タイプ		分施タイプ		分施タイプ
エココシヒカリ 033	エココシヒカリ 076	こだわり元肥 201		エコ日本晴 201
				
35kg/10a	35kg/10a	20~25kg/10a	40~45kg/10a	35~40kg/10a

※ 基肥を一発肥料で基準より少ない施用量に設定した場合、穂肥量も減少することとなるので注意しましょう。分施タイプは穂肥が必要です。田植機の開度調整は3月のかがやきを参照願います。

疎植・細植え

細植えにする理由は、太いしっかりとした莖をつくるため。太いしっかりした莖ができると、穂も大きくなる（大粒化）し、倒伏にも強くなります。植付け本数の多い稲は、分けつが多くなり株がりっぱに見えるが、一本一本の莖が細く、穂は大きくなりにくい。また、目に見えて倒伏には弱くなります。とくに、平坦地では栽植密度を50株/坪以下(株間20cm)にし、1株当たりの有効莖歩合を高めましょう。

3~4本植えでも



携帯電話用メールサービス「あなたの携帯電話に営農情報をお届けします！」
稲作技術情報をよりタイムリーにお届けできるようメールサービス配信中です。
アクセスは左のQRコードをお手持ちの携帯電話バーコードリーダーで読みとるか、232g3r@a01.hm-f.jpへ空メールを送信して登録ください。

登録は無料